

中公みはら芸術かわら版



“師走に関するうんちく” 月日の経つのは早いものですね。いつの間にか12月になってしまいました。12月は別名“師走”と言いますね。“師走”とは、昔は正月も盆も同じように、祖先の霊をとむらう月で、お経をあげるために僧侶が、あちこちの家にいそがしく走りまわっていたのが、語源とも言われています。他にも色々な説があります。皆様はどんなことを知っていますか？調べてみるのも楽しいですね。ここで、一年間の別名を覚えてみましょう。1月(睦月) 2月(如月) 3月(弥生) 4月(卯月) 5月(皐月) 6月(水無月) 7月(文月) 8月(葉月) 9月(長月) 10月(神無月) 11月(霜月) 12月(師走)です。覚えられそうですか？ ゆっくり声を出して言ってみましょう。覚えたら1年間制覇した気分になるかも！今年1年間かわら版を読んでいただきありがとうございます。又、来年も楽しく学べる講座の企画をしていきたいと思っています。皆様のご来館をお待ちしています。それでは皆様よいお年をお迎えくださいな。

展示ケースも素敵にクリスマスバージョンです。



Merry Christmas!

ガラスアート



脳いきいきアート



ねんどクラブ

体験講座紹介

新しい風・生涯学習

正月料理

日程 12月13日(金)
場所 調理室(3F)
時間 10:00~14:00
定員 30人
対象 大人
参加費 2,800円
申し込み 12月10日(火)まで



クリスマスケーキを作ろう

日程 12月25日(水)
場所 調理室(3F)
時間 10:00~13:00
定員 12人
対象 大人
参加費 1,600円



12月の講座情報

- ① フラワーアレンジメントでしめ縄作り
- ② ゆずでジャム作り
- ③ 体幹鍛えて元気な体づくり

注)上記講座は11月の広報で受付終了したものです。



松寿会の皆様の力作

松寿会の皆様 いつもご協力ありがとうございます。生涯学習フェスティバル開催時より中央公民館の玄関を美しく華やかに飾ってくださりありがとうございました。ご来館の皆様も足を止めて“きれいね〜”と絶賛されていました。又来年も期待して

11月25日パン生地で作ったクリスマスウェルカムボードを作りました。個性に満ち溢れた素敵な作品が出来皆様大喜びでした。家族で素敵なクリスマスをお過ごしくださいね。

平成26年1月の体験講座紹介

- ①パレトン(効率のよいエクササイズ)
- ②クラフトテープでカゴ作り(角型ピクニックカゴ)
- ③家庭で作れるやさしい料理



三原市中央公民館
三原市円一町2丁目3番1号



講座の申込先 中央公民館生涯学習課
TEL 0848-64-2137



新連載企画

「海・山・空」夢ひらくまち

本郷を訪ねて Ⅱ

近世の本郷

江戸時代の本郷は豊田郡の行政経済・交通の中心地でありました。西国街道の宿駅や藩営の御茶屋、休憩所が設けられ街道の両側には、二百三軒の町屋が並び、その内宿泊ができたものは七十軒あまりと言われていました。また、三次と忠海を結ぶ三次道が整備され、町域には今でも、三次通り、三次川等の呼び名が残っています。一方、ため池、川周辺の湿地帯を利用して米作りが広まり、藩内有数の酒造米の産地にもなりました。



えんとつのある酒蔵



本郷生涯学習センターの資料館

近代の本郷

明治初年に置かれた郡の役所が忠海に移されたため、本郷は一時活気なくしました。しかし、明治二十七年

(1894)山陽鉄道が開通して本郷駅ができること、再び交通の要衝として活気をみせ、地域経済の中心地として発展しました。また、佛通寺参拝の玄関口ともなりました。米を中心とする農業のほか、葉タバコの栽培が盛んで専売局の葉たばこ再乾燥場が本郷駅近くに作られ、農業技術向上のため本郷農学校(現総合技術高校)も設けられました。



総合技術高校



本郷駅

広島空港も成人を迎えました。

昭和三十九年(1964)この地方は、備後工業整備特別地域に指定され、工業誘致が積極的に行われました。平成五年(1993)十月二十六日に山陽自動車道本郷ICが開通、十月二十九日に広島空港が開港し新しい交通の拠点として整備されました。また、宅地の建築も盛んで、平成十七年三月二十二日に合併し、新しい街づくりが形成されています。



開港20周年記念



開発が進む東本通

馬を走らせて村境を決めた?

現在の北方と南方を合わせた地域は梨羽郷と呼ばれていました。この郷は一本の巨木を目印として村境を決めていたが、ある年の夏に枯れてしまいました。境をめぐって口論になり、話し合いで解決することができない状態となり、話し合って北の端から南に向かって、南の端から北に向かって一番鶏が鳴くのを合図に馬を走らせ、その両方の馬が出会った場所を村境にしようということになり、馬が出会った場所が境になったと伝えられています。テレビの日本むかし話でも放送されたこともあります。

本郷の昔話(伝説・民謡編)に詳しく書いてあります



ここが境界だね
南方 北方

ちょっと考えてみよう 三原の歴史(3回)

近世

近世の三原は、海に迫り、平地が少ないので早くから干拓が進められてきました。元和八年(1622)から頼兼・系崎天神及び大規模な宮沖新開等が干拓され生活基盤の整備が進められました。当時の代表的産物は酒で三原酒として、將軍献上用としても使用されていました。他に、煙草・大根・焼梅・こぼろ・綿などもありました。

広島民俗学会理事 榎 博自先生の「郷土史講座」、歴史民俗資料館の資料・本郷町史等を参考文献に掲載しています。

生涯学習フェスティバル 短歌大会作品

入選作品(一般の部)

トンネルを抜ければ青きはつなつの

海の彼方に因島大橋

本郷町上北方 榎宗 範子

やはらかに光る椿の萌ゆる葉を

愛しと見つむ長く目を病み

幸崎能地一丁目 大森 瑞枝

友よりの長き手紙に書かれしは

父母の介護の三年の日々

東町一丁目 村上 召三

ふたたびは来ることもなからん指宿の

砂むし風呂にゆったり沈む

和町一丁目 中村 須磨子

潮満ちる沼田川鉄橋軽やかに

二輛電車小春日を往く

田野浦一丁目 小白 照子

早生晩生個性に満てる幼等を

評価せし過去ただに悔いおり

城町一丁目 塚本 孝子

思ひのまま今日は遊ぶ日「布あそび」

一針休めて会話のはず

和田三丁目 佐々木 照

「短歌」の基本は、五七五七七の5句3十

一音の韻律(いんりつ)で詠(よ)むことです。数え方は、一首(いちしゆ)・二首(にしゆ)と数えます。

皆さんも挑戦されてはいかがですか!